

科学技術会議ライフサイエンス部会ゲノム科学委員会
「ゲノム情報科学におけるわが国の戦略について（平成12年11月）」
（要約）

目標：バイオインフォマティクス（バイオのための情報科学および情報論的解釈に基づく生命科学）の推進

方策

○人材養成

- ・ 即戦力の養成
研修プログラム開発、研修機会・インセンティブ提供、外国人の登用
専門学校活用と国家資格設定
- ・ 研究交流、試行錯誤の「場」としての拠点形成
大型計算機の利用環境の提供、異分野の若手研究者の交流、習熟度に応じた体系的研修プログラムやセミナー
- ・ 大学等における中長期的視点に立った人材の育成
教育研究組織（学科や専攻、教育センター等）の整備

○データベース構築

- ・ 国家レベルでの有識者会議による戦略立案
生物医学の基盤として不可欠の情報に対応したデータベースの支援
永続的な予算措置
データの格納方式や利用者インタフェースの統一化、標準化
既存大学等の活用
- ・ 戦略の検討、実施を支える組織の設置
世界的動向調査、計画作り、細部にわたる評価（予算措置への競争原理導入）
- ・ 留意事項
データの公開、データ産出プロジェクトや機関との連携、統合化データベースの重要性、計測装置との連携、研究との連携、教育機関との連携

○情報解析技術開発

- ・ 情報解析技術開発の在り方等に関する戦略を検討する体制の整備
競争原理と評価体制の導入
- ・ 国家的な支援を要する分野
生命科学のための高速アルゴリズムや高速コンピューターの研究開発
- 画期的な情報解析技術の研究開発
例：数百生物種規模のゲノム配列比較技術、大規模な遺伝子タンパク質系のシミュレーション技術、大規模のタンパク質の分子動力学計算